

令和5年5月24日
保健福祉政策部保健医療福祉推進課

令和4年度在宅療養相談の実施状況について

- 1 在宅療養相談窓口の相談状況（令和4年度：令和4年4月～令和5年3月）
（令和3年度：令和3年4月～令和4年3月）

(1) 相談者数(重複なし・実人数) (人)

	4年度	3年度
相談者数	6,962	7,784

(2) 相談件数(人物重複あり・件数重複なし) (件)

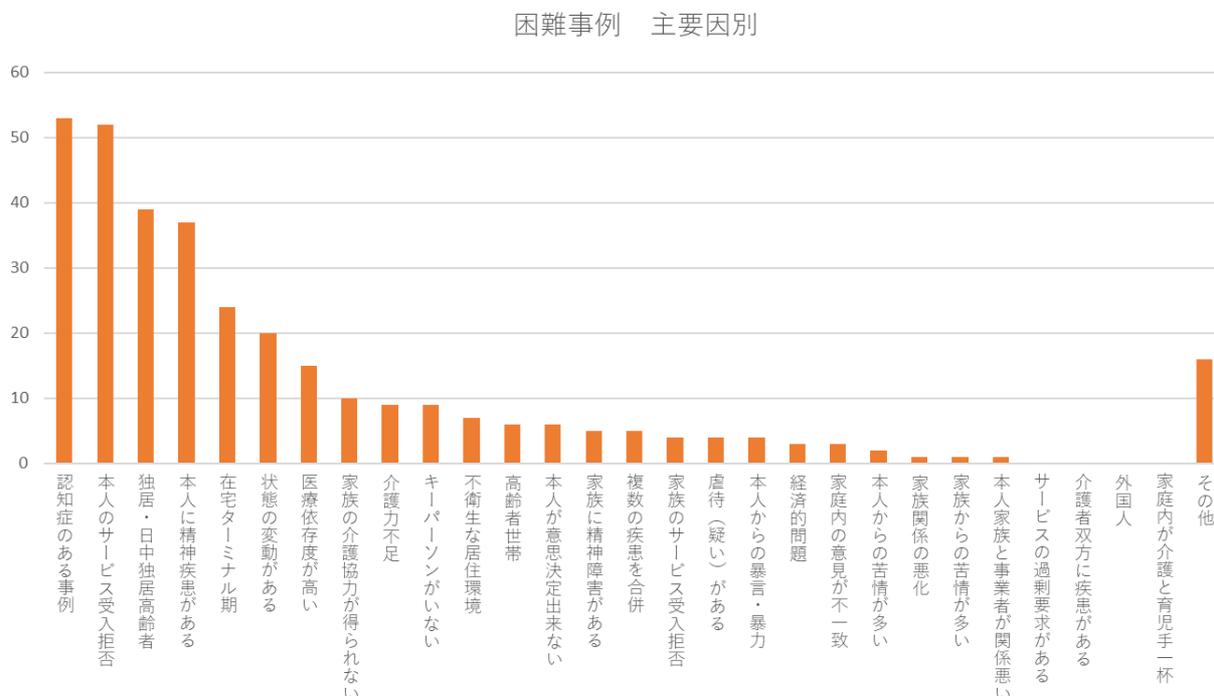
	4年度	3年度
在宅療養に関する相談	10,701	11,567
入院入所に関する相談	1,685	1,684
転院に関する相談	641	628
その他	180	405
計	13,207	14,284

(3) 相談者に案内した情報の内訳(件数重複あり・上記相談の「その他」を除く)(件)

案内の内訳	4年度	3年度
ア「在宅医療」制度説明(終末期含)	1,565	1,294
イ 病院(有床診療所含)	1,604	1,762
ウ 診療所(医科)	1,556	1,620
エ 歯科診療所(歯科)	98	94
オ 訪問看護	1,336	1,567
カ 薬局(薬科)	252	387
キ 居宅系介護サービス(介護保険内)	3,383	3,747
ク 介護・福祉関係(介護保険外)	544	665
ケ 行政	363	431
コ 入院・入所(病院・有床診療所)	1,271	1,195
サ 入院・入所(特養・老健・有料老人H・サ付・GH等施設系)	414	489
シ 転院等(病院・有床診療所)	363	310
ス 転院等(特養・老健・有料老人H・サ付・GH等施設系)	278	318
セ その他	180	405

(4)各地区での主な困難事例の相談内容

在宅療養相談のうち、各地区毎月1件報告している困難事例を要因別に集計したもの



(5)各地区での主な困難事例の相談内容

○退院後の在宅療養調整

相談者	相談内容
本人	腹水、胸水が溜まり入退院を繰り返す。呼吸苦、微熱、食欲低下が出現し、本人より在宅療養の相談が入る。訪問診療、訪問看護、福祉用具等の手配はされていない。本人はできるだけ長く自宅で過ごし、最期に友人や親族と会いたいと希望するが、夫は入院を希望し介護保険申請も拒否。ホスピスを予約済みと話す。
ケアマネ	A病院に入院中。薬が効かず病院でも対応に苦慮するほど激しい状態。しかし、子ども達の意向としては退院させて家で暮らしてほしい意向あり。ケアマネとしては同居夫も認知症状が進行している状況なのでそれは難しい状態ではないかと伝えると、ケアマネに対して執拗な連絡が入り対応に苦慮しているとも報告あり。子ども同士の関係性も非常に悪く、キーパーソンの変更や兄弟喧嘩に対する警察の介入がある状態。
家族	令和3年10月に妻が脳梗塞で入院中の夫の相談のため来所。介護申請と思われたが、妻の理解が不足しており、当方から入院先のMS

	Wに状況確認した。入院先MSWより、「妻へはリハビリ病院転院後に申請するよう指示していた。理解力に問題がある。」との情報があった。
--	---

○在宅療養調整、連携

相談者	相談内容
家族	夫より電話にて「転倒を繰り返しているが、かかりつけ医が遠く、連れていくこともできない」と相談が入り、急遽自宅へ訪問。目立った外傷はないが、両下肢の浮腫が顕著。筋力低下の影響か足が上がらず、少しの段差に躓いて転倒を繰り返している状況と確認。夫も難病のためすり足で歩行のバランスが悪く、たびたび転倒している。タクシー等を利用したとしてもかかりつけ医まで2人で行くことが困難と夫は話す。
家族	結婚当初より、互いに気性が荒いこともあり、取っ組み合いの喧嘩が度々あり、3人の子供たちへの威圧的な態度で父子関係は一方的かつ希薄であった。昨年より妻への暴力が増え、浴室清掃不備の指摘に対する返答に立腹して湯張りした浴槽に突き飛ばす、留守中に自身が嫌いなTVを妻が視聴していたところを発見し顔面殴打する、物忘れによる重複した買物や言ったことを忘れてやらず嘘ばかりつくことなどで殴ったとの報告あり。

○入院・入所支援

相談者	相談内容
家族	かかりつけ医なし、体調変化あるも受診せず、徐々に呼吸苦・食事摂取困難・歩行困難みられ救急搬送されたが、搬送先では精査ができず、他病院の紹介状を渡され、当日介護タクシーで帰宅。その後紹介先に受診できておらず、ほぼ寝たきりの状況。同居の姉が本人に受診を説得するも、「行っても、どうせまた帰される。入院できない」と諦めあり。姉だけで紹介先病院に行ってみるも、うまくやりとり進まず、受診予約できずに家に帰宅。